Non Profit Organization てくてく通信

TEKUTEKU★

2015
秋 号

P1～　理事長・本部長 あいさつ

P4～　ホーム　ハック　にこりん　etc…

-11月 刊行-

P9～　後援会　沿革

裏 面→　みなさんの力を募集中！

NPO 法人てくてく

〒617 - 0825　京都府長岡京市一文橋２丁目 25－26

電話：075 - 957 - 5350　／　メール：tekuteku@sunny.ocn.ne.jp

理事長　挨拶

冨島　邦雄

今年の夏は、猛暑日が続き秋が本当に来るのかと思っていました。その後、台風の襲来に伴い大きな豪雨被害があり、あっという間に涼しくなり彼岸前にはすっかり秋一色でした。豪雨による洪水などの自然災害に対して、今までの「起こらないだろう」から「起こるかもしれない」と考え方を変えなくてはなりません。「てくてく」のグループホームでも、近くの川が氾濫するかもしれないと避難の対策を考えましょう。

９月１日から「てくてく」では、「相談支援事業所ぱれっと」を開設することが出来ました。メンバー一人ひとりの『望む暮らし』を実現するために新たな指定計画相談事業を展開しますが、メンバーに寄り添ったきめの細かいサービス等利用計画を作成し地域で自立した生活をするために役割を果たして行くこととなります。

あってはならないことですがグループホームで大きな労災事故が発生しました。口腔ケア時に支援者が指を噛まれるという事態が起こりました。メンバーの口腔ケア時の安全対策を見直し、今まで以上に支援者の安全を配慮した支援の対策を取らねばなりません。事故後、職場を点検すると過去に支援者の怪我に繋がるメンバーからの行為があったにも拘わらず、事実の把握が行われず組織的な対応がされていませんでした。支援者の働きやすい職場環境を整えることが緊急課題です。職場の風通しを良くし、ヒヤリ・ハットなどスムースな報告が出来、対策が直ぐに取れる職場に変えて行きましょう。

最後に「てくてく」の良い風土や伝統は今まで通り活かしながら、働く支援者の快適性と満足度を高めて、メンバーと支援者が共に生き生き生活出来るようにして行かなければなりません。今一度、皆様のご協力をお願い致します。

てくてく「めざすもの」「大切にしていきたいこと」、そして「みんなの会議」について

事業統括本部長　尾瀬順次

「てくてく」が発足以来大切にしてきたことを「てくてく」にかかわる皆さんとあらためて共有し、「てくてく」の「これから」を考えていくために、「めざすもの」「大切にしていきたいこと」を文章化し、今年度の通常総会で皆さんとともに確認しました。

○「てくてく」が「めざすもの」

「てくてく」は「誰もが住み慣れた地域で、いきいきと自分らしく暮らし続けることができる街づくり」をめざします。

○「てくてく」として「大切にしていきたいこと」

「てくてく」は「めざすもの」の実現に向かって、下記のことを大切にしながら取り組みを進めていきます。

① メンバー一人ひとりが「生活の主体・主人公」として、「その人らしい自立生活」「望む暮らし」を実現できるよう、常にメンバーの思いに寄り添いながら支援します。

② メンバーが一人の住民として、どんなしょうがいがあっても当たり前に暮らしていける地域作りに向けて取り組みます。

③ 家族やかかわる方々との連携を大切にし、メンバー一人ひとりの暮らしを支える「人の輪」をつくります。

④ メンバーと共にあることを通して「てくてく」に集い働くすべての人たちが、皆楽しく生き生き過ごせるよう取り組みます。

⑤ 制度を活用しつつ、制度の枠にとらわれない自由な発想で活動を展開します。

⑥ 地域に向けて常に情報や課題を発信し、様々な人たちとの協働を通して、しょうがいのある人たちを「地域で支える力」の向上に貢献します。

「てくてく」の「これから」を考えていくための「指針」として、ここで掲げたことを具体化していく取り組みを進めて行きたいと思っています。

ここでの一番のポイントは「誰もが」ということです。「てくてく」は「しょうがい」がある人の「その人らしい『自立生活』」の支援のために、様々な取り組みを行っています。しかしそれは「『しょうがい』がある人『だけ』の暮らし」について考えていけば実現することでは決してありません。「しょうがい」があるなしによらないことはもちろん、性別や年齢、国籍や人種などにかかわらず、「誰もが『当たり前に』暮らしていける街」であってこそではないでしょうか。

そのことを私たち「てくてく」は「『しょうがい』のある人の支援」という取り組みを通して、目指していきたいと思います。さらに「てくてく」そのものが「『しょうがい』のある人とのかかわり」を通して、「『てくてく』に集い働くすべての人たち」が生き生きと輝ける場所でなければならないと考えています。

発足以来14年目となり、「てくてく」そのものも、周りの状況も大きく変わってきています。変わらず大切にしたいこと・変わっていくべきことの両面を踏まえて、「てくてく」の課題について考えていくための集まりとして、「『てくてく』の『今』と『将来』を考える『みんなの会議』」を、立ち上げて行きたいと思っています。詳しくはあらためてご案内いたしますが、「てくてく」に関わる多くの皆様にご参加いただきたいと思っております。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

＊あっとホーム＊ 濱田　洋子さんへのインタビュー！

Ｑ１．どんぐりで、いつもどんな生活をしてますか？

Ａ１．洗濯物を中に入れたり、荷物を置いたり、手洗いうがいをして、洗濯物を畳んだり、明日の用意をして、服装は自分で決めています。テレビを観たり、音楽をかけたり、歌をうたったりしています。

Ｑ２．グループホームでの楽しみは何ですか？

Ａ２．週末に、お菓子を食べることです。ひとつだけです！

Q3. 最近、興味のあることはなんですか？

A3. 好きな音楽は安室奈美恵、玉置成実です。それと、嵐のコンサートに行ってみたいです。

＊あっとホーム＊ 小西　敦彦さんへのインタビュー！

Q１．グループホームってどんなイメージ？

A１．邦雄さんが言うとおり。どんぐりと翔とつばさとジャンプの話をしてくれたけど、それぞれ羽ばたくようなイメージ。親元から離れて自由と責任を感じるけど、自分らしく普通に生きられる場所。ジャンプは一つ一つの問題をジャンプして乗り越えていくイメージです。

Q２．ホームでの楽しみは何ですか？

A２．ジャンプでは一人で楽しんでいること→毎日の食事をフェイスブックに上げていること。みんなで楽しんでいること→イラついたときに外出してしまうこともあるが、みんなと会話をしながらの食事が癒しになることがある。みんなと竹の里温泉に行ったり、忘年会をするのが楽しいです。

Q3.　ホームで、どんな生活をしてますか？

A3. テレビをみたり、普通の生活。好きなことができるけど、基本のルールを守って生活している。グループホームと職場でイラつくのを隠すため、また、そのストレスを発散するために道中に気分転換をしている。

＊あっとハック＊ 石橋　利啓さんへのインタビュー！

Q１．ハックってどんな感じ？

Ａ１．ショートステイに泊まるのは、いろんな話をして人とうまく付き合っていく勉強のつもり。「てくてく」では、ガイドヘルプや通院も利用している。ハックで話すことで、ネタ作りになり、（ガイドヘルプや通院に）話しやすくなる。

Q２．楽しみにしていることは何ですか？

Ａ２．ごはんが楽しみの一つ。いろいろな人が料理をつくってくれるけど、いつもおいしい。一緒に泊まってくれるスタッフさんたちとたくさん話をすること。みんなやさしい！

Q3．ハックで、どんなすごしかたをしていますか？

A3．コーヒーを飲みながら話をしたり、スタッフさんに手伝ってもらって、お風呂に入ったりしてる。夕飯を食べたあとは、部屋でテレビを見ながら、のんびりすごす。

＊にこりん＊ 中西　耕太さんへのインタビュー！

Q１. にこりんの活動で、思い出に残っていることはありますか？

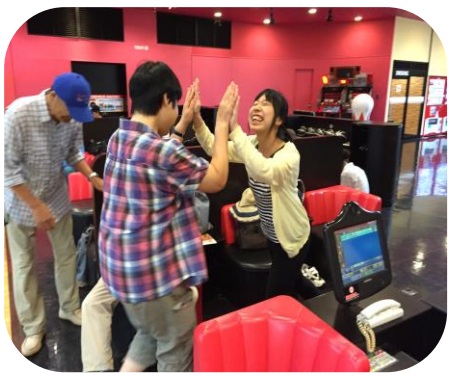
A１. ヘルパーと神戸港から遊覧船にのったこと。フィッシュバーガーがおいしかった。船着き場にいけたのもよかった。

Q２. これから行きたいところ、やりたい活動は何ですか？

A２. 伊勢に行きたいし、紀伊半島一周もしたい。

Q3. にこりんってどんなイメージ

A3. スタッフがやさしいからいい。丁寧に行き先とか勤め先のこととか話を聞いてくれる。



こんにちは「相談支援事業所　ぱれっと」です！★★

9月より指定計画相談（サービス等利用計画）を実施する事業所として、あらたにスタートしました！

- 利用できる方
  - 向日市、長岡京市、大山崎町にお住まいの支援を必要とするしょうがいのある方とそのご家族。
  - 京都市西京区にお住まいで主に乙訓地域でのサービス利用等を希望されるしょうがいのある方とそのご家族。
- 電話/FAX　（075）925-7565（ぱれっと専用）
- メール　palette@arrow.ocn.ne.jp（ぱれっと専用）

「あなた色の絵の具」で、「あなたの街」に、「あなたらしい暮らし」を自由に描いてみませんか？「ぱれっと」は、そんな「あなたらしい暮らし」を描くお手伝いをしたいと思っています。どうぞお気軽にご連絡ください！（相談支援員　尾瀬順次）

2015年 春～秋の活動

●親睦活動　～感謝の気持ちを伝えるイベント～

ぽたろう祭り

バーベキュー

●コロぼっくる　～みんなで話し合い、楽しめる活動をつくっていく～

料理教室

マラソン

サイクリング

てくてく後援会メッセージ

後援会会長　米村　久美

9月１日付けで指定を受け相談支援事業所「ぱれっと」がスタートしました。後援会より御祝金を贈ることができました。「てくてくフォーラム」と「コロぼっくる」にも助成金をわたすことができました。皆様のお力添えで、今年度もてくてくに協力できたことをうれしく思います。恒例のぽたろう祭では、家族会と連携してバザーや模擬店の応援を行いました。準備や当日、沢山の方にお手伝いいただき、にぎやかで楽しいひと時となりました。

これからも、NPO法人てくてくの理念「めざすもの」と基本方針「大切にしていきたいこと」に賛同し、てくてくの事業・活動に対し、金銭的・人的な後援サポートを行うために、共に運動していきます。この趣旨をご理解の上ご賛同いただき、引き続きご協力ご支援の程、よろしくお願い致します。

個人会員（１口：1,000円　１口以上）

団体会員（１口：2,000円　１口以上）

バザーでの協力★

ぽたろう祭り　２０１５

てくてく後援会を

どうぞよろしくお願い致します！

「NPO法人てくてく」概要

NPO法人てくてく　法人概要　（2015年１１月１日現在）

沿革	平成14年11月25日　法人設立　事務所　長岡京市井ノ内 平成16年4月　事務所を長岡京市一文橋へ移転 平成19年3月　事務所を長岡京市長岡3丁目へ移転 平成25年4月　「てくてく『みんなの家』」開設　事務所を移転
実施事業・活動	**○あっとホーム**（共同生活援助） ＊あっとホームどんぐり（長岡京市井ノ内）H15年4月　5名 ＊あっとホームジャンプ（大山崎町大山崎高麗田）H16年4月　4名 ＊あっとホームつばさ（向日市上植野町）　H17年3月　4名 ＊あっとホーム翔（長岡京市今里川原）　H17年4月　4名 ＊あっとホームたんぽぽ城の里（長岡京市城の里）H23年4月　5名 **○にこりん**（居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援）H15年4月 **○あっとハック**（短期入所…あっとホームたんぽぽ城の里併設）H23年4月 **○あっとハックいちもんばし**（短期入所）H25年7月 **○ぱれっと**（相談支援事業所）H27年9月 **○地域力活性隊「コロぼっくる」**（みんなの交流会・クラブ活動等）
職員数	１４名
登録スタッフ数	９７名（世話人、ヘルパー、ボランティア）
利用者数	９３名
サービス対象地域	京都府乙訓地域（長岡京市・向日市・大山崎町）、京都市桂川西岸地域
連絡先	電話・Fax　075-957-5350　E-mail　tekuteku@sunny.ocn.ne.jp
ホームページ	http://tekuteku.sakura.ne.jp

新拠点「てくてく『みんなの家』」

○〒617-0825　京都府長岡京市一文橋２丁目25-26

アルバイト募集

しょうがいのある方々の自立生活を支援する活動です。
グループホームでの食事作りや介助、休日の外出サポート、
興味のある方はぜひ、見学に来てください！！

==========

●仕事内容

グループホームでのお仕事（資格がなくても働いていただけます）

夕方１５時 30 分～朝 10 時の間で数時間～宿泊まで

ヘルパーのお仕事（ヘルパー２級の資格が必要です）

主に休日の外出サポート数時間

●時給　**940円**～（研修中９１０円）

●連絡先　**TEL：075 (957) 5350**

tekuteku@sunny.ocn.ne.jp

お気軽に
お問い合わせ
ください

==========

しょうがい者の自立生活を支援する

NPO 法人　てくてく

事務所　〒617-0825 長岡京市一文橋２丁目２５－２６

ホームページ　http://tekuteku.sakura.ne.jp/

Facebook　https://www.facebook.com/tekuteku.music